

過去千年の政治リーダー人気投票

衆議院選挙が近づいて、日本の政治リーダーの選択をしなければならないが、過去千年の政治家（？）の人気投票データが、数年前に朝日新聞に掲載されたことがある。

日本人約8000人による人気投票の結果だが、投票に応じた年代層等が不明なので一概に評価できない。しかし、ここにノミネートされた人物はそれぞれの時代背景、哲学や置かれた立場をその時代に照らしてみれば、なるほど、とうなずけるであろう。

中国の故事に「創成と守成いずれが難き・・・守成が難き」という言葉がある。

一般に動乱期に職を得て、それを収集した人物は評価され易く、そうでないときの人はその成果を評価されにくい。動乱を迎えないことに奔走する現代人は、その点では評価されにくいかもしれないが、「守成」の真の意義を理解すれば、あながちそうでもないだろう。

「守成」とは前動続行をいうのではなく、未だ顕在化していない不具合を、その状況の中で改善改革し、守ることである。

来る選挙は必ず自らの責任を行使し、決して手を汚すことなく、我が国に必要な真の政治家を選ぶようにされたい。

【過去千年の政治リーダー人気投票】（朝日新聞：12. 3. 11）

1	坂本龍馬	1457	16	源 義経	83
2	徳川家康	1226	17	板垣退助	68
3	織田信長	1164	18	吉田松陰	67
4	田中角栄	456	19	勝 海舟	66
5	吉田 茂	438	20	尾崎征雄	64
6	豊臣秀吉	382	21	佐藤栄作	56
7	福沢諭吉	330	22	徳川吉宗	41
8	西郷隆盛	233	23	徳川慶喜	41
9	市川房江	137	24	大隈重信	35
10	伊藤博文	130	25	伊達政宗	29
11	武田信玄	115	26	高杉晋作	28
12	上杉謙信	98	27	足利尊氏	26
13	源 頼朝	92	28	聖徳太子	26
14	大久保利通	90	29	原 敬	25
15	上杉鷹山	85	30	藤原道長	24

以上